



# 松陵健児

発行：2019年9月1日 能代高校東京同窓会 発行責任者：三浦洋 編集：会報誌グループ 題字：山田晃一(第42期) 印刷：株式会社每栄



校舎前に建つ自在の像(第29期・戸松恭一さん制作)。高城校舎への移転にあたり、1975年(昭和50年)にこの像を寄贈した小林肇さん(第19期)逝去の報を受け、2019年の能高祭では喪章を付けて弔意を表しました。6月25日撮影(写真提供：第33期・小林勝平さん)。小林肇さんの追悼記事を本誌4～5ページに掲載しています。

## 2019年度 能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】2019年10月5日(土)

□受付 12:00～

□総会 12:20～

□講演会 13:00～

講師 三浦基英さん(第51期)

(有)サンクラ代表、三種町観光協会副会長

□懇親会 13:30～16:00

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

【年会費】2,000円

【懇親会費】男性7,000円 女性6,000円

\*お振込、または当日受付にて受領します。

\*従来の特例のほか、参加促進事業により懇親会費無料の期があります(P8参照)。

【出欠】■インターネットをお使いの場合は、東京同窓会ホームページのフォームからお申し込みください。QRコードもご利用ください。

■同封のはがきの場合は、9月27日(金)までに投函ください。

QRコード始めました

総会・懇親会の詳細は本誌8ページに掲載しています。

東京同窓会ホームページ <http://shoryokenji.web.fc2.com/>



## 若い世代へのアプローチ

東京同窓会会長 第45期 三浦 洋

日頃から会員および母校関係者の皆様には、当会に対して様々な面でご協力をいただきまして、誠に有難うございます。

ここ数年の会員および懇親会への参加者数の減少については、幹事会でも喫緊の課題として認識しており対策を検討しているところですが、生徒数のみならず、地元を離れて進学・就業する人数自体が減少傾向にあるともいわれている中、有効な対策が打てない状況が続いています。以前も実施しましたが、この春の卒業生に対して、東京同窓会の存在の周知と本会に連絡先を知らせてほしい旨を記載した呼びかけ文を、母校のご協力により全卒業生に配布していただきました。従来の葉書による返信方式ではなく、現代風にスマートフォンでQRコードを読み取って必要事項を記載して送信するという簡単な方式にしたのですが、実際の登録者は僅か2名に留まりました。それでも配布当日の夜に早速登録してくれた卒業生がおりましたので、今後も同様に卒業生に対する呼びかけを継続していきたいと思っております。

話は変わりますが、今年度の活動計画として掲げた「今まで蓄積された総会、懇親会等の記録写真や音源のデジタル化(アーカイブ)作業」を、専任担当者を決めて進めている最中であり、これにより昔の懐かしい写真や音声が現代に蘇りつつあります。今後はこのアーカイブの有効利用方法についての検討を進めますが、皆さんからもアイデアや要望をお寄せいただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

最後になりますが、長きに亘り東京同窓会を支えていただきました小林肇名誉顧問(元会長、第19期)が令和元年5月9日に逝去されました。小林先輩の同窓会に対する多大な功績は、母校に寄贈された「自在の像」と共に永く語り継がれることと思っております。改めてご冥福をお祈りいたします。



## 夢と志を育む

能代高等学校長 第50期 山田 浩充

東京同窓会の皆様には常日頃より母校に対して深い愛情と心強いご支援ご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。今年4月から母校である能代高等学校に赴任いたしました。どうかよろしくお願いいたします。教員として母校に勤めるのは初めてであり、とても新鮮な気持ちで毎日を過ごさせていただいております。

さて、現在本校は創立百周年に向けて、活力に満ちた学校づくりを進めています。校訓「至誠力行」のもと、校是「文武両道」を体現できるような学校をあげて取り組んでおります。目指している生徒像は「高い志を掲げ、自らの目標達成やよりよい社会の実現に向けて、主体性をもって果敢に未来を切り拓く生徒」です。何事にも最後まであきらめることなくやり遂げる強い精神力を養い、周囲の人にも自分にも常に誠実に、高い志をもち続けられる人材の育成です。

具体的な取組としては、カリキュラム・マネジメントの確立に向けて、昨年度までの「探究活動等実践モデル校事業」を契機に、New Will Projectを進化、深化させることを目指しています。

また、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に継続して取り組み、学力の3要素を多面的に評価しようとする大学入学者選抜にも向き合っていきます。そのために地域や大学など、様々な機関との連携の在り方も模索してまいります。おそらく、同窓会の皆様との連携も必至であると考えております。

どうか、本校のこのような教育方針を理解していただき、生徒たちが創立百周年に向けて新たな伝統と歴史を築いていけるよう、東京同窓会の皆様のなご一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、東京同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍を衷心よりご祈念申し上げます。



## 東京同窓会の皆様へ

能代高校同窓会会長 第40期 森田 新一郎

昨年の4月に八峰町長を務めてから早いもので1年以上が経過しました。能代高校同窓会会長や八峰町社会福祉協議会会長を引き受けた際にも感じましたが、人生で勇気を出して一歩前へ出るとまるで違う風景が見えてくることを体験し、またある団体の役員を頼まれ迷っている友人にもそのようにお話ししてきましたが、八峰町という小さい町であっても首長の場合は、これまでとは比較ができないくらい違う風景を実感しています。

国会議員や県議会議員と直接電話でお話ししたり、毎月のほとんど毎日、懇親会付きの会合にお招きされたり、ふるさと会や県人会や政府への要望活動(首相官邸にも初めて入りました)などで東京や名古屋や北海道など県外出張が頻繁にであったり、高齢者と呼ばれる領域に入ってから人生で



初めてということの連続であります。

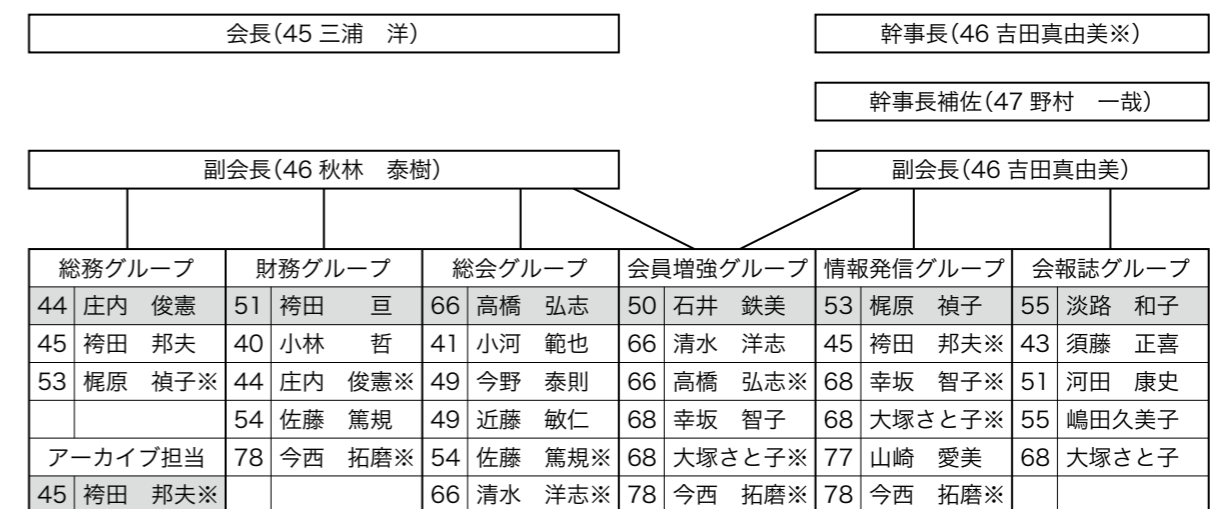
年間で土日も含めて30日ほどの休みだけという忙しさですが、毎日が充実し、自分自身でいうのも変ですが「私の人生は本当に面白い人生かも」という思いを強くしているところです。

これまでは60歳定年が私にとっての一般常識で人生のピークかと思っていたのですが、健康でありさえすれば、実は70歳くらいが、能力、知識、人脈、気力などから、人生のピークになってきているのではないかと考えるようになりました。

また、平成31年度同窓会本部の新年祝賀会は、当番幹事の第48期と第58期の信じられないくらい頑張りにより、当番幹事だけで80人以上(同窓会史上初めてかも)、全体でも130名を超える皆様が登場し、猛烈に感動いたしました。

今年の春の秋田県大会で硬式野球部が準優勝しました。夏の大会は第2シードになりますので、組み合わせ次第では平成4年以来となる27年ぶりの悲願達成が期待できます。新しい年号の「令和の時代」になったその年に悲願達成ができればこの上ない喜びであり、今から大いに楽しみです。

### 能代高校東京同窓会 組織図(2019/06/01現在)



数字は通算期  
 ■ 網掛けはグループ・リーダー  
 ※は兼任

注：2019/6/1 開催の幹事会にて承認

名誉顧問	26	八柳 昭義
顧問	25	畠 豊彦
顧問	39	菅原 渉
監査役	34	西川 廣正

#### ■その他の幹事

【24期】山縣輝輔【26期】畠山信孝【29期】宮腰興紀【30期】熊谷幸夫【31期】馬場富男【32期】高谷誠【35期】干場革治【37期】若狭秀巳【38期】豊嶋誠【39期】大塚進、田村敏雄、諸沢隆一【45期】大塚雄蔵、真崎裕【46期】石井喬【47期】和平忠幸【49期】片谷浩之、今野泰則、田村盛仁【53期】吉田順【62期】大高忠勉【67期】小野立、滝田祐作



## 東京同窓会元会長 小林肇さんを讃えて

能代高校東京同窓会の元会長、小林肇さん(第19期)が5月9日に亡くなりました。89歳でした。東京同窓会で事務局長から会長に就任(1991年～99年)、顧問となり、最期まで名誉顧問でもあった小林さんの足跡や功績について寄稿していただきました。謹んでご冥福をお祈りし、ここに感謝の意を贈ります。

### 先輩 小林肇さんを偲んで

第29期 石川 正順

能代高校東京同窓会名誉顧問、小林肇さんの訃報に接し、一瞬、息が止まりました。いつもにややかな笑顔で話しかけられた往時のお姿が蘇り、まさに巨星墜つての感があり、残念でなりません。

私は小林さんが会長在任時に役員(幹事、副会長他)になり、ご指導、ご鞭撻を賜り、爾来30年が経過し、今日に至っております。

小林さんは旧制能代中学(5年制)を昭和23年3月にご卒業されました。ちょうど旧制と新制の切り替えが始まった時代で、ご苦労も多かったと思います(戦時中に入学し、終戦後に卒業)。

小林さんは一代で会社を興し、社員には能代高校卒業生を迎え入れています。また、母校に樹木や像を寄贈するなど多大な貢献をしております。

偉大なる先輩、小林さんを失って、改めて氏のご功績に対し敬意を表したいと思っております。

どうぞ安らかにお休みください。心からご冥福をお祈りいたします。



2013年(平成25年)の東京同窓会・懇親会で乾杯の音頭を取る小林肇さん。

### 同窓会の礎を築いた人柄と包容力

第39期 菅原 渉

小林肇さんとの出会いは初めて参加した茗荷谷・茗溪会館での総会の時で、私が33歳の時である。会場に居並ぶ大先輩達に圧倒され堅くなっている私を、「良く来た、良く来た」と人懐こい笑顔を満面に浮かべて迎え入れてくれた。その優しい人柄と包容力に、私は一遍に小林ファンになった。これが縁で同窓会幹事を引き受け、その後一度も欠席することなく、今日まで総会に参加しているのは、この最初の出会いにあったような気がする。

小林さんは東京同窓会の黎明期を事務局長として取りまとめ盛り上げ、その後第3代会長、名誉顧問として今日の東京同窓会の礎を築いてくれた大恩人である。若い世代の皆さんには高城新校舎に移転後の翌年、昭和50年に寄贈された自在の像の贈り主としての方が有名かも知れない。

かつて小林さん、太田勝治さん(第29期、故人)、大塚進さん(第39期)と私の4人で、埼玉のゴルフ場でプレイをしたことがある。同窓生同士の屈託のない和気藹々のゴルフはとても楽しく、誰からともなく「分科会としてこれからも続けよう」との話になり、これが今も続いている東京同窓会のゴルフ同好会・能球会の始まりである。

7年前の総会の乾杯の音頭で「私はまだたったの82歳です。みんなの顔を見るとますます元気になる」と挨拶したことを思い出す。その後、体調を崩した時期もあったが、総会にはいつも出席してくれた。ある時は看護婦さんを同行させ、乾杯後にみなさんの顔を一通り見ると、「菅原君、そっと帰るからね」と人知れず会場を後にしたものだ。「見送りは要らない」と言うのを、いつものことですからと車まで見送り、「また来年も元気で会いましょう」「おー、君も元気だな」が合い言葉であり、楽しみでもあった。東京同窓会を

こよなく愛し、みんなと会うことをとても楽しみにしていた人であった。

佐々木満さん(第15期)の国務大臣就任祝いや鈴木裕美子さん(第49期)のバルセロナ・オリンピック出場の壮行会を開催したり、その他諸々の同窓生の慶事には骨身を惜しまずに自ら先頭に立って企画を練り上げたりと、本当に面倒見の良い先輩であった。

東京同窓会への小林さんの情熱は我々後輩がしっかりと引き継ぎ、そして未来の後輩達へと引き継いでいきますので、どうぞこれからも温かく見守ってください。心からご冥福をお祈りいたします。



2012年(平成24年)の総会より、歴代会長4人の紹介。左から小林肇さん、豊島彦さん、太田勝治さん、菅原渉さん。

### 故郷や母校を大切にした肇さん

第40期 小林 哲

小林肇さんは私の父の従弟でした。いつもそう呼んでいた「肇さん」を偲んで、本稿を書かせていただきます。

肇さんは昭和4年に生まれましたが、2歳までに両親を亡くし、道地の母親の実家(=私の実家)で育てられました。肇さん10歳の時、家は私の祖母、3人の子供(長男が私の父で当時12歳)と肇さんの5人の母子家庭になりました。その後、戦争、終戦を経て、農地改革で土地を没収され、厳しい経済状況だったとのこと。その中で、祖母は肇さんを旧制能代中学(能代高校の前身)に進学させました。肇さんは、自分をそこまで育ててくれた祖母と道地の人々に深い恩義を感じていました。

能代中学を卒業した肇さんは、昭和23年に上京し、遠縁の親戚の会社に住み込み、丁稚奉公を始めます。持ち前の明るさと常に新しいことに挑

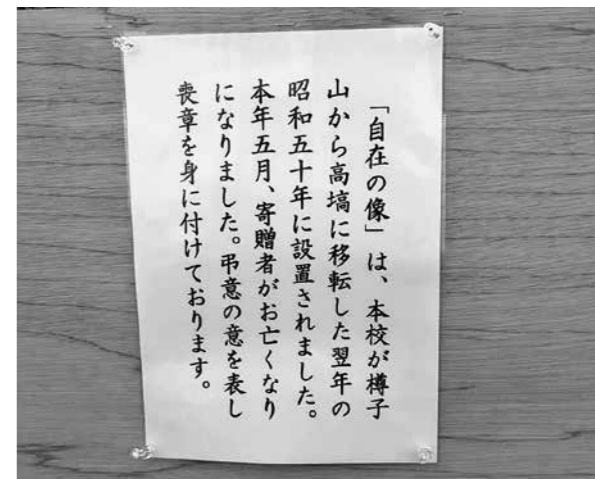
戦する能力を発揮して徐々に頭角を現し、昭和40年、35歳で独立し、本郷の間口一間の事務所で新会社を設立します。その会社は現在、売上高600億円超になっています。

会社の成長と共に、肇さんは求人等のために来能する機会が増えました。その都度、道地の我が家に来て、道地の人々と夜遅くまで、自分の夢、日本の流通業の将来、世界の動きなどを熱く語り、人々を魅了していました。また、会社発展のイベントのたびに能代でお世話になった人々を開所式などに招待して、歓待しました。道地に古くから伝わる佐々楽(ささら)の強力なサポーターでもありました。

私は、大学受験のための予備校の夏期講習以来、様々な場面で肇さんにお世話になりました。私が米国留学中、シカゴの見本市に来ていた肇さんが約200キロ離れた大学の寮までタクシーで来て、私を激励してくれたこともありました。能代高校を卒業して上京した私にとって、肇さんは父親のような存在でした。

肇さんは、能代高校にも深い恩義を感じていました。後輩を会社に迎え、「自在の像」を寄贈し、長らく東京同窓会事務局を会社内に置き、東京同窓会会長も務めました。

戒名は「天寿院和顔肇友居士」。「和顔」は仏教の「無財の七施」の一つ「和顔施」に由来すると聞きました。私も、肇さんのように、恩義を忘れず、常に明るい笑顔で前向きな姿勢でいることを目指すことによって、多少なりとも受けた恩に報いたいと思っております。 合掌



表紙にも掲載した「自在の像」の前に、小林肇さんへの弔意を表して喪章を付けている旨が掲示された(能高祭初日の6月22日撮影)。

## 恩師に聞く

### 能代高校在職の頃の思い出

相場 修二 先生

1971年(昭和46年)4月から1982年(昭和57年)3月まで能代高校に在職なさった理科(生物)の相場修二先生にご寄稿いただきました。短歌も寄せてくださいましたのでどうぞ味わってください。



#### ●87歳の身体状態、家庭菜園や短歌会

最初に断っておきたいのは、緑内障(眼圧の高まり)で小生の場合は視野の中央が濁り(欠損して)、長らく本などから離れていることである。月に1回、眼科に通院、またアスベストの吸引が肺中皮腫の疑いでも通院。加えて、高齢で血圧と血糖が高く2ヵ月に一度通院していること。それでも、90坪くらいの家庭菜園で健康のため野菜作りをし、地域の短歌会に月に一度出席し、楽しんでる。

元号の昭和、平成、令和へと  
戦時を生きて 平和の重き  
夫婦とも 旅と登山を楽しみて  
今八十七令和に消えん  
老体は役に立つまいと  
関病の池江スイマーを薬師に祈る

#### ●樽子山の樹々

昭和46年からの3年半を樽子山に、49年秋から56年度までは高埜の校舎に、都合11年間お世話になった。

赴任して半年は西大瀬の職員住宅(3軒あり、須田先生、深川先生、小生が入居)より通勤。そ

の後、金足に家を新築したので、高埜の校舎には同じ金足追分より通勤していた野中先生や事務職員の永田さんと交替の運転で通勤した。

樽子山の校地には成木の樹木が多く茂って、古い木造の校舎を一層薄暗くしていた。職員玄関から理科室までの廊下にその思い出がある。

樽子山の理科室の南側窓の外にはイチヨウの大木があり、秋季の実の収穫では、その処理で特有の臭気に悩まされたことが思い出される。

#### ●深夜の十里強歩、ワンダーフォーゲル同好会

伝統の十里強歩は今も続いているだろうか。男子は午前0時に本校をスタートして森岳往復。女子は森岳を午前2時のスタートで、我々職員は森岳や檜山、鶴川などの関門係であったことを記憶している。

小生が赴任した46年の夏であったが、生徒8人で八幡平から岩手山まで奥羽山脈縦走が計画され、小生の監督同行で許可されて実行に。大深山で野営した。この夜は冷えたので、翌日の三ツ石山あたりで二人の生徒が体調不良となり、小生が付き添って雫石のリフトで下山した。顧問だった北川和子理科教諭の転出で、同好会の後任には強力な指導者(秋林孝克理科教諭)を得て、山岳部に改称され、全盛期を迎えた。

#### ●担任の思い出

赴任2年目の最初の担任のとき、伝統の強豪、能代高校野球部のバッテリーがいたので吃驚したが、その後に小生の脳裏には忘れることのできない苦味として残った。しかし、立派な社会人として成長して、良き人生を歩まれている。

#### ●2回の地震の経験

付け加えて、高埜校舎時代の2回の地震の経験を。通用道の土手で四つ葉のクローバーを探していたとき、轟音と共に浅内方面から青田が波打って、激しい揺れに地べたに尻餅をついたことがあった。その次の地震では、帰宅途中の鶴川地内で走行に異状を感じたので停車したら、電線が大揺れしていた。どちらも校舎に被害はなかった。

終わりに、能代高校の今後の一層の隆盛を願うと共に、皆さんの健康と平安と祈念しています。

## 能高生だより

### ～現役松陵健児の素晴らしい活躍に、心からのエールをおくりたい!～

【柔道部】3年 伊藤 悠雅

私が特に力を入れて取り組んだ部活動について紹介していきたいと思います。

私は本校に入学し、柔道部に入部しました。高校の柔道は中学生の頃よりも過酷でしたが、先輩や同級生などが支えてくれたおかげで、2年生の頃から大会で成績を出せるようになりました。ですが、2年生の頃は、全県総体で優勝することができませんでした。それからは、全県総体で優勝することが目標になっていました。そのためには、技を増やすべきだと思い、新しい技に挑戦し、たくさんの壁にぶつかってきました。3年生が引退し、主将として部員を引っ張っていく中で、主将として部員全員には負けたくないという気持ちが起り、それが全県新人での優勝につながったと思います。

そして、かねてからの目標であった全県総体の優勝を果たし、インターハイの出場権を獲得することができました。これは優勝しなければならぬというプレッシャーに苦しめられる中で、支えてくれた仲間、監督、先輩、家族がいたからだと思っています。

今まで柔道を第一に考えてきましたが、次なる目標を達成させるために勉強をし、柔道で培った経験をいかしながら頑張っていきたいと思っています。



伊藤悠雅さん 全県総体優勝おめでとう!

【無線部】3年 成田 陽菜

今回この会報に原稿を寄せるにあたって、私がかつて力を入れて取り組んできた部活動について紹介したいと思います。

私は中学校の頃から能代高校に入学したら無線部に入ろうと決めていました。従姉妹や先輩からARDFという競技について教えてもらいとても興味を持ちました。ARDFとは競技エリアに隠された送信機を2時間以内に探し出す競技です。中学生の頃吹奏楽部に所属していた私は体力が無く、毎日の練習について行くのが精一杯でした。しかし、早く先輩達のように長距離を走りながら機械を使いこなしたいと思い、練習に励みました。

練習を積み重ねた結果、昨年9月、韓国で開催された世界選手権大会に日本代表として選抜され出場しました。大会の規模も大きく、日本とは環境が異なる中でかなり緊張しました。森を越えての探査や、急斜面の上り下りは大変でしたが最後まで諦めずに探査し、発信器を見つけた時には、今までの大会とは比べものにならないくらい嬉しかったです。結果は満足のいくものではありませんでしたが、この大会を通して世界との壁を感じたと同時に、自分の新たな課題も見つけることができた大会でした。

また、今年9月に行われる国際大会(アジア、オセアニア大会)への出場も決まっております。今までの経験を最大限生かして、全力で競技に臨みたいと思います。支えてくれる家族、友達、先生、部活の仲間感謝の気持ちを忘れずに、他選手に臆することなく頑張ります。



成田陽菜さん(左から2番目) 世界へ羽ばたけ!



## 2019年度 能代高校東京同窓会総会・懇親会のご案内

【日時】2019年10月5日(土)  
 受付 12:00～  
 総会 12:20～  
 講演会 13:00～  
 懇親会 13:30～16:00

【年会費】2,000円  
 \*世帯制割引:夫婦そろって同窓生の場合は一世帯2,000円  
 \*新卒者特例(今年は第89期):1,000円  
 【懇親会費】男性7,000円 女性6,000円  
 \*割引制度や特例があります(下段参照)。  
 \*3階・会場前の受付で会費・懇親会費をお預かりします。  
 【出欠】回答は必ずお願いします。  
 インターネットをお使いの場合は、できるだけ東京同窓会ホームページからお申し込みください。  
<http://shoryokenji.web.fc2.com/>  
 同封のがきは9月27日(金)までに投函ください。

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間  
 JR/地下鉄(有楽町線、南北線、都営新宿線)  
 市ヶ谷駅より徒歩3分  
 千代田区九段北4-2-25 電話03-3261-9921  
<http://www.arcadia-jp.org/>



◆若手対象の参加促進助成金があります  
 \*若手同窓会員を対象とした同窓会活動参加促進事業が昨年から始まりました。この制度により、今年は第80期(平成22年3月卒業)から第89期(平成31年3月卒業)までの会員は同窓会本部からの助成金を利用し、懇親会費は無料とします。  
 \*懇親会費無料適用は該当10年間のうち2回までとしますが、それ以降は若者割引が適用できます。  
 \*東京同窓会の年会費は第89期の卒業生は1,000円、それ以外の卒業生は2,000円です。  
 \*参加促進事業については、平成29年12月発行の能代高校同窓会会報『松陵』第29号に掲載され、その文面は東京同窓会ホームページでも公開しています。

◆オンラインによる諸手続きのお願い  
 東京同窓会では経費削減の一環として、諸手続きのオンライン化を導入しております。皆様のご協力をお願いします。  
 ①同窓会・懇親会への出欠届け、会員の方の変更届け等  
 入力方法:東京同窓会HPのトップページの左端の「出欠届・変更連絡等」をクリック/タップし「入力フォーム」に記入してください。  
<http://form1.fc2.com/form/?id=784024>  
 住所やメールアドレスの変更があったときは必ず事務局までお知らせください。そのままでは会報誌や総会案内などが届かなくなります。インターネットをお使いでない場合は回答はがきでお知らせをお願いします。  
 ②同窓会出席者向けのアンケート  
 総会終了後にご回答をお願いします。今後の会の運営の参考にします。  
<http://form1.fc2.com/form/?id=800917>

### 講演会 「DMOあきた白神ツーリズムふるさとは何を目指すのか？」 講師:三浦 基英さん(第51期)

今年4月に設立された能代山本1市3町連携による地域DMO「一般社団法人あきた白神ツーリズム」が目指すものとは?  
 人口減少と高齢化を見据えたふるさとの取組みと課題を探ります。



《講師プロフィール》  
 みうら もとひで 有限会社サンクラ代表取締役。1962年生まれ。三種町(旧山本町)出身。山本中学校卒。慶應義塾大学卒(社会学専攻)。現在三種町観光協会副会長、能代山本観光連盟理事等を務め、今年4月には能代山本連携の地域DMO「あきた白神ツーリズム」の理事に就任。じゅんさいを中心としたイベントの企画・運営、サンドクラフト(2014～18実行委員長)、森岳歌舞伎など地元活動の他、2015年からは「能代超新星ポップスオーケストラ」のメンバーとして広く能代山本地域で活動中。

### 【懇親会費の割引・特例】以下のとおり差し引きます(一昨年度より一部見直しています)

- 1) 初参加割引 総会・懇親会に初参加の同窓生は 1,000円引 ★1、2、3は重複可
- 2) 若者割引 第68期生以降の同窓生は 1,000円引
- 3) 先輩割引 第32期以前の同窓生は 1,000円引
- 4) 参加促進制度 第80期～第89期の同窓生は 無料(年会費のみで参加できます)
- 5) 学生特例 同窓生で新卒以外の学生の方は 1,000円で参加できます(年齢不問)
- 6) 東京同窓会以外の能高同窓生、友人等は 懇親会費のみ(東京同窓会年会費は不要)
- 7) 家族の参加 同窓生の家族は 3,000円のお支払いで参加できます  
 ★ちょっと健康が不安という方は家族の方と一緒に参加してください  
 ★家族に同窓会の雰囲気を見せてあげたい方も遠慮なくご同伴ください  
 ★小学生以下は無料

## 平成30年度(2018年度)総会・懇親会の出席者(同年度会費納入者)

【21期】八杉和男(能中)【23期】矢口裕(二中)【24期】山縣輝輔(二中)、今村宏司(一中)【27期】大村真陸郎(浜口)、檜森寛(鶴川)【29期】宮腰興紀(一中)、石川正順(森岳)【31期】馬場富男(二中)【33期】斎藤忠生(金岡)【34期】長岡忠光(檜山)【35期】干場革治(八森)【38期】佐藤能雅(東雲)、菊地忠美(東雲)【39期】菅原涉(下岩川)、大塚進(二中)、諸沢隆一(一中)、住吉修平(一中)、田村敏雄(一中)、持田訓(一中)、直嶋博明(東雲)、金谷もと\*(一中、旧姓大原)、山本達行(二ツ井[能代より参加])【41期】小河範也(二中)、田中亨(響)、金子裕二(浜口)【43期】菊池忠夫(藤里)、福岡武(二ツ井)、北林博敏(下岩川)【44期】庄内俊憲(八森)【45期】袴田邦夫(二中)、三浦洋(森岳)、河田昌俊(一中)、山谷めぐみ(二ツ井)、榎原正彦\*(東雲)、高松武史(金岡)【46期】石井喬(二中)、吉田真由美(一中、旧姓工藤)、秋林泰樹(二ツ井)、佐藤康准(一中)、平川尚(一中)、福岡博\*(二中)、大山望\*(二中)【47期】野村一哉(二中)、佐野輝彦(二中)、越中谷真喜(一中)、京久夫(二中[能代より参加])、腰山達哉(八森)、平沢武志(二中[能代より参加])【48期】大黒規正\*(森岳)、小林金雄\*(東能代[秋田より参加])【49期】片谷浩之(二中)、近藤敏仁(下岩川)、今野泰則(一中)【50期】佐藤孝也(一中)【51期】袴田亘(二中)【53期】梶原禎子(八竜)、鈴木美千子\*(一中、旧姓谷内)【54期】佐藤篤規(二中)【55期】淡路和子(一中)【56期】伊藤孝義\*(一中[能代より参加])【62期】大高忠勉(峰浜)【66期】高橋弘志(二ツ井)【67期】滝田祐作(一中)、小野立(一中[能代より参加])【68期】幸坂智子(能代南)、後藤直也(八森)【72期】大原進太郎(一中)【77期】山崎愛実(東雲)

●同窓生出席者数 69名 ●東京同窓会以外の同窓生 5名 ●\*印は初参加者 8名  
 ●出身中学校名は卒業当時の校名

## 平成30年度(2018年度)総会 欠席しますと回答いただいた方と会費納入の方

【14期】宮原茂悦【15期】杉本于門【19期】鈴木良夫#、小林肇#、大塚哲郎#【20期】小野喬、塩谷隆二#【21期】信太吉右エ門#【23期】細田了平【24期】松坂タカシ【25期】栗原俊一#、畠豊彦#、民谷恒二#、小野純治、工藤尊久#、佐々木胤麿、那須秋男#、町田次男#【26期】板倉富彌#、宮腰英彌、畠山信孝#、佐々木高博#【27期】山田邦夫、栗原優子#、斎藤秀夫#、石嶋喜直#、田中郁三、後藤信義#【28期】宮腰義昭#、須田正巳#、石川輔宏【29期】中田龍一#、佐藤芙美恵、蓼沼正紀、嶋田雄右#、宮腰瑞夫、赤塚鉄男#、桜庭憲治、鈴木元紀#、加茂谷紀男、笹木広澄#【30期】渡邊傑#、宮腰七郎、熊谷幸夫#、熊谷洋一【31期】小田幸雄#、熊谷博雄#、菊地宏道、長岡満夫、笠原強、大倉報三#【32期】森田弘、吉岡良隆#、野呂田正一、松橋厚、千田修、杉江昭宏#、高谷誠#、田中正敏#、小高功#【33期】金田英成#、清水靖子#、堀内忠人#、清野勝子#、矢木信章、福田健作、石川進【34期】畠山昇#、斎藤彰悟#、谷内五郎、西川廣正#【35期】恩田恒美、加賀竜司、金子永喜#、石山眞#、横田真理子#、高松睦夫、唐澤好文、川添能夫#、金谷満郎#【36期】深井学#、浅野友城、工藤正樹、大山剛、細田静夫【37期】今野廣隆#、橋本悟、新堀益夫、小松義明、山田達則、若狭秀己#、小杉山久晴、袴田大蔵#、小野津世子#【38期】鈴木健次、荒川久敏#、松谷康雄#、畑沢鉄三、戸松伸一#、袴田忠夫#、福田満男#、佐藤則男#、田口宜明、市川正敏#、大塚健三、新堀勝男#【39期】下坂節男、土田一夫#、茂呂忠良、金野峻明#、佐藤富夫、佐藤景紀【40期】高橋博美#、増田春樹#、熊澤朝子#、敦賀照光、三浦和信、武田清悦、小林哲#、智田農#、北川雅夫#、小松文明#【41期】佐藤治、藤田久夫、田中亨#、正木修一、山谷和則【42期】加藤正人#、佐藤行信#、工藤俊一#、勝呂誠治、島村務【43期】幸坂和彦#、高橋敦子#、工藤富雄、須藤正喜#、五代儀彦秀、石塚信一#【44期】柳谷昇、長岡幸夫、山崎友久、佐藤穰#、佐藤幸生、森岡雅信#、佐藤伸【45期】大塚雄蔵#、相澤正和、原田康男、加藤純雄、鎌田泰宏、工藤輝己、長江妥貴子、港基樹#、真崎裕#【46期】山田義昭、斎藤靖雄#、清水文彦#【47期】出雲政弘、成田公明【48期】伊藤昭弘、北林蒔子#、野島美季子、安濃純、淡路正則【49期】大塚聡子#、鎌田健二、田村盛仁【50期】石井鉄美#【51期】河田康史#、萬貫通子#、平塚征悦#、平塚佐智子#、干場耕司【52期】井瀧正彦#【53期】若杉公子、吉田順#、石田千洋、工藤勉、若林康人【54期】三浦佳奈子、佐藤周之#、小山内恵樹、佐藤弘孝、遠藤いぶき#、【55期】浅野敦志#、嶋田久美子、伊藤広一、大山顕#【56期】大野留理【59期】中村王子【62期】安富房子、能登祐克【65期】石山陽一、田口真由美【66期】清水洋志、畠山幸

●#印は会費納入の方 ●年会費世帯制の適用者2組は2名の名前を掲載しました。

※このページは敬称を略しました。★欠席でも回答をいただけると助かります。今年はぜひ参加してください。

## 平成30年度 総会・懇親会の報告

2018年、平成最後の東京同窓会・総会が10月6日(土)12時20分より、アルカディア市ヶ谷にて開催されました。東京同窓会会員の他、昨年まで本校の校長であった京久夫先生(第47期)、元校長でもある能代高校同窓会・山本達行副会長(第39期)など来賓の方々を迎えました。総会の司会は幹事長補佐の野村一哉さん(第47期)、議長は諸沢隆一さん(第39期)がつとめました。続いて、印刷機械の総合メーカー・小森コーポレーション代表取締役社長・持田訓さんの講演会。懇親会は高橋弘志さん(第66期)と幸坂智子さん(第68期)の司会で進行し、盛会のうちに終了しました。

### 講演会「印刷機械の発展と 小森コーポレーションの取り組み」 講師：持田 訓さん(第39期)



#### インターネットの時代にも力を持つ印刷物

ゲーテンベルクが約500年前に開発した印刷技術は、世紀の大発明でした。これ以降、紙媒体、情報の伝達媒体として急速に発達しました。現在はインターネット、デジタル・メディアが普及して、紙媒体が侵食されてきている傾向にありますが、それでもまだ紙に力があるのは変わっていません。小森コーポレーションは紙媒体の印刷機械や紙幣の印刷機械も造っており、デジタル化への対応で変革して、事業の多角化を進めています。日本の支店や営業所の他、海外の50社程度の代理店を通じて活動しています。アメリカのシカゴ市、ヨーロッパではオランダを中心にフランス、イギリス、イタリアに子会社があり、この数年間はアジアが主要で、中国、台湾、マレーシア、シンガポール、今年にはインドに現地法人を設立しました。

印刷物にはまず出版印刷があり、教科書も入ります。スマホ、タブレットなどが侵食して出版は苦戦していますが、ただしインドなどではまだ伸びしろがあります。商業印刷はチラシやカタログ

などで、日本の場合にはチラシの文化が非常に大きく高品質なものが出ております。それからパッケージ印刷が右肩上がりです。ただし、プラスチックは環境問題が出てきているので、紙媒体は環境的に見直されており、飲料など紙のバックに変わってきています。

#### 印刷技術の優れた日本の紙幣

証券印刷は紙幣、宝くじ、商品券、パスポート、切手などで、我々は約30カ国に紙幣印刷機械を販売しています。紙幣印刷の需要はとくにアジアが伸びています。全世界のお札でいちばん大きな印刷量を持っているのは中国で、続いてインド。

非常に大事なことは、お札は偽札との競争になることです。どのくらい偽札が横行しているかというと、日本では100万枚中0.1枚、ドル紙幣は100枚ぐらい、嚴重なヨーロッパでも50枚ぐらい。それほど日本の紙幣は偽造がしにくく、管理が行き届いています。いろいろな模様が透かして見える、パールインキで光る、50ミクロンぐらいのマイクロ文字で印刷できる、特殊蛍光インキを使って紫外線を当てると光る、このような点がしっかりして偽造防止になります。

日本の銀行券、英国のポンド紙幣も100%が当社の機械で刷られています。2020年に新しい20ポンド紙幣が出るのですが、これが実は紙ではなくて、ポリマーという素材が使われています。

印刷機械は昔から大量生産に向けた機械でありましたが、今、限界が来ています。多品種、小ロット等に対応していかなければならない。デジタル印刷も具体的に考えなければいけない。2019年春に出す機械は、菊全用紙に1枚ごとにバリエーション(異なった絵柄)で、しかも高速で印刷します。デジタル印刷機ですが、オフセット印刷機の性能を持ったハイブリッドな印刷機械であり、近未来

の印刷システムではないかと思っています。このような事業内容に興味がありましたら、当社の株を(場内笑い)……よろしくお願いします。ご静聴ありがとうございました。

構成/淡路和子(第55期)



懇親会を始めるにあたり、山縣輝輔さん(第24期)のご発声で乾杯。



講師の持田さんと同期の第39期生で記念撮影。

総会・講演会・懇親会・二次会の写真の一部は東京同窓会のホームページにリンクがあります。東京同窓会のブログやフェイスブックにもトップページからお入りください。

<http://shoryokenji.web.fc2.com/>

### 赤坂スペイン料理と手作り生ハムの店 CERVECERIA GRANVIA

〒107-0052  
東京都港区赤坂6-4-15  
シティマンション赤坂101  
Tel/Fax 03-6277-8621  
mail kaneko@granvia.jp



秋田(田沢湖)生ハム工場 グランビア生ハム工房  
〒014-1201  
秋田県仙北市田沢湖生保内字下高野71-149  
Tel/Fax 0187-42-8356

## 会員だより

### 気が付けば50年

第39期 金谷 もと(旧姓大原)

ふるさと能代を出て50年。机に飾ってある母の遺影は70歳のお祝いの時のもの。自分ももうすぐその年齢になる。

昨年10月、小中高一緒だった諸沢さんから突然の電話。同窓会へのお誘いだ。一度も出席したことのない未知の会である。随分迷ったが勇気を出して行ってみることにした。

一つのテーブルに懐かしい人たちの顔があった。同期生、10人程である。全体では殆ど知っている人はいなかったが、それでも同じ能代という親近感があり居心地はよかった。

初参加組が自己紹介することになった。私は名字について話すことにした。私の夫は一学年上の金谷昇さん。能代では普通にカネヤだった。ところがこっちで呼ばれたカナヤの響きが妙に気に入る、住民票を移す際、軽い気持ちでルビを変えたらそれが正式名になってしまった。そんな話をした。

続いて、同期の持田さんの講演である。中学時代はバスケットボール部で、能代工業高校から誘いがあったという話しは後で聞いた。今は印刷機械の大手、小森コーポレーションの社長さんである。立場上、一番大事なことは何ですか、と聞いたところ「人ですねえ、人です」としみじみ語っていたのが印象的だった。

総会のあと同期は三次会まではしごになった。お互い見た目はすっかり年相応だったが核の部分は変わっていない。我々の十代にはベトナム戦争や学生運動があり、働き盛りの四十代にはバブル崩壊やデフレがあった。人生の様々な荒波を乗り越え、今は少し一休み、そんな充足感が皆の表情にはあった。楽しい一日だった。来年は古希のお祝い、ぜひ能代で会おうと約束して別れた。

最後にご多忙の中、長年この会を運営してこられた同窓の皆様へ心から御礼申し上げたい。ありがとうございました。



## 高校時代を回顧して同じ釜の飯を食った球友と祝う還暦

第46期 大山 望

一昨年の8月に、三種町(旧八竜町)にある砂丘温泉「ゆめろん」に硬式野球部の球友9人(一人欠)が集まり(写真)、1泊2日の日程で還暦を祝った(球友の一人である高田支配人の尽力に感謝)。しばらくぶりの再会だったが、頭にあるべき髪があって高校時代の面影がそのままだった。直ぐに当時に戻って、あれやこれやの昔話に花が咲いた。もちろん、地酒やキリタンポ鍋等の郷土料理に舌鼓を打ちながら。



我々は昭和38年以来13年ぶりの甲子園出場を、県内初めての敗戦(県の代表決戦、対秋田商)で断たれた。昭和48年入学、3年次は昭和50年。鈴木誠投手(のちに阪神タイガース)を擁して、春季県北大会、全県大会優勝、東北大会準優勝(決勝で日大山形に敗戦)、能代招待野球優勝と、県内では負け知らずで、夏の秋田大会予選の大本命だったが、結果は前述した通りである。昭和49年に校舎移転した高埜にはグラウンドがなく、樽子山グラウンドまで自転車や車で通っての部活動だった。

この誌面をお借りして、改めて恩師の太田久監督(事務)、金谷晴隆部長(数学)、統隆副部長(担任、英語)、コーチ田辺氏、神林氏、伊藤氏、柿崎氏に感謝御礼を申し上げますと共に、既に逝かれた諸氏の御冥福を祈る。

早稲田大学卒業後、指導者として甲子園出場を目指すも、神奈川の高校の壁は厚かった。

昨年、東京同窓会に初参加したが、規模の大きさに驚き、多岐の分野にわたり活躍されている現役の先輩、同期、後輩諸氏に元気もらい、改めて能高(松陵健児)の伝統の素晴らしさを感じた。これを機に、年代を越えての親交が深められたらと思う。

自分の心のバックボーンを築き、県北の伝統のある能高のますますの発展と、同窓生皆様の御健勝を祈念して筆をおく。

追伸 同期の幹事、秋林氏、吉田氏、石井氏には会の運営、日頃の活動に深く感謝する。

## 初めての能代高校東京同窓会

第53期 鈴木 美千子(旧姓谷内)

勤務先への通勤途中にある「アルカディア市ヶ谷」。毎年ここで開催されている能代高校東京同窓会の事を知ってはいたものの、子育てと仕事に追われなかなか参加できませんでした。やっと気持ちと時間に余裕ができた2018年10月6日、初めて東京同窓会に参加しました。

昭和58年に高校を卒業し、既に35年以上の月日が流れていますが、高校時代の楽しかった記憶は今でも鮮明に思い出します。高校を卒業しても上京直後は能高同期の友人と同居したり、都会生活になれるまでの数年間は頻りに誰かの家に集まったり……本当に多くの時間を高校時代の友人と過ごしました。就職してそれぞれの道を歩んではからは集まる機会も少なくなりましたが、最近では皆子育てもひと段落。誰かが上京した折に集ま



2018年の東京同窓会の懇親会より。初めて参加したみなさんに自己紹介していただきました。

## 「大いなる秋田」東京公演に参加

第50期 石井 鉄美

皆さんは「大いなる秋田」という楽曲をご存知ですか？

今から50年前の1968年に明治百年を記念して秋田県出身の作曲家、石井欽が秋田を讃えて作った4楽章からなる楽曲です。私は中学3年の時に能代市民体育館での演奏会に合唱で出演した思い出があり、昨年、42年ぶりに「大いなる秋田」演奏会(2018@東京)に参画しました。当同窓会幹事の淡路さん(第55期)と一緒に、11月25日に文京シビックホール(大ホール)で開催された演奏会に参加しました。プラスバンドとコーラスを合わせて約200名の参加者、観客1600名の中で歌った「♪秀麗無比なる鳥海山よ〜」は、忘れられない経験になりました。



3月の練習参加以来15回に及ぶ歌唱練習と、毎回の「反省会」を通じて、県北、県央、県南の秋田県出身者と仲良くなれましたよ。また、私は小学2年当時に十和田町大湯に住んでいたのですが、参加者に大湯出身者がおられた縁で、渋谷で開催された「大湯ふるさと会」にも参加し、当時の同級生のお姉さんにお会いできるという幸運にも恵まれました。

故郷を離れて40年。故郷とつながるイベントは自分再発見の場になります。2018年は「大いなる秋田」参加を通じて自分の原点に立ち帰れた年になりました。



2018年の懇親会では、Parero Saxophone Trioのみなさんにアトラクションとして演奏していただきました。

たり(当然飲み会です)、今年の春には「大人の修学旅行」と称して同期女子有志と京都旅行を楽しんだりして来ました。これまでも、これからも、能代高校で出会った友人達は私にとってかけがえのない宝物です。

初めて参加した同窓会。多くの先輩達に声をかけて頂き、楽しい時間を過ごしました。様々な分野で活躍されている同窓生が多いことに感心。そして校歌斉唱。卒業以来歌っていないのに、覚えている事に驚き！

そして同窓会終了後、同じ建物内で開催されていた「金足農業東京同窓会」に同期と乱入！夏の甲子園の感動に(同期友人が)感謝の言葉を述べ、お土産に金農デニッシュと葡萄を頂いちゃいました。

今年の同窓会はどんな出来事が待っているのか、今から楽しみです。まだ参加したことのない皆様、一度参加なさってはいかがですか？会場でお会いしましょう！



大高忠勉さん(第62期)が応援団長役となってエールを送り、続いて校歌斉唱。

能代郷土料理・居酒屋

# 酒楽こてらんこ

藤岡洋子(能代北高卒)

〒110-0015  
東京都台東区東上野1-19-2 第二鈴木ビル1F  
☎ 03-6803-0239

・JR御徒町駅北口より歩いて5分  
・日比谷線 仲御徒町駅3番出口より歩いて3分

◆定休日 土日祝(土曜日は予約のみ営業)

## 五日会で友と出会う！ 友と語ろう！！

第51期 平塚 征悦

五日会は同窓会の青年部です。会の目的は若手同窓生(第45期より若い人)の親睦と交流です。季節ごとに年4回活動しています。後楽園の中国料理屋で紹興酒のかめの鏡開きをしたり、渋谷の魚釣り居酒屋で鯛やヒラメを釣って刺身にしたり、御徒町の能代北高出身の美人ママのお店で秋田の美酒ときりたんぼを堪能したり、昼にポウリングをして夜は新宿の日本酒専門店で大吟醸を堪能したり、池袋の八竜町出身のイケメン居酒屋オーナーを応援したり、葛西臨海公園でバーベキューをしてスキンシップを深めたり、日本橋でひつじ料理を堪能したりしています。

こんな楽しい会ですが、課題は20代、30代の若い人の参加が少ないことです。そこで今回は、若い人たち向けに五日会に参加することのメリットをお伝えしたいと思います。

五日会に参加すると、

1. 部活、地域、趣味などの共通点のある友と出

会うことができる。

2. 高校時代や故郷の楽しかった思い出を友と語り合うことができる。

3. 高校時代や故郷の悲しかったり、苦しかったりした思い出を友に聞いてもらえ、今まで心の奥底に抱えていたストレスを発散できる。

というメリットがあります。

歳の差はありますがそれを全く感じない、みんな仲良しの友の会です。同窓生という仲間には垣根はないのだということをしみじみと感じる会です。秋田から上京して現場の最前線で頑張っている20代、30代のみなさん(40代のみなさんも!)、ぜひ五日会に参加して、友と出会って、友と語ってみませんか。



新宿でポウリング↓日本酒セルフ飲み放題やまちゃん(現けんちゃん)という企画もありました。

## 東京同窓会の同好会

東京同窓会には、同窓生の親睦のために以下の同好会があります。これらの会に連絡を取りたい人、新たな同好会の提案や希望がある人はご連絡ください。

事務局メールアドレス：yohmiura@msn.com

### ◇能高五日会

活動内容：2006年1月5日に設立した同窓生の青年部で、若手同窓生(第45期より下)の親睦と交流を目的にした懇親会。今年後半は9月13日(金)、12月13日(金)、2019年は3月6日(金)の開催が決まっています。フェイスブックのほか、LINEグループでもできました。

代表者：清水洋志(第66期)

### ◇樽子山会

活動内容：樽子山を卒業した世代が各期を越えて参集し懇談します。元気な70歳代の楽しい寄集まり会にしたいと思います。昨年の会報に七福神巡り(九段下周辺)の報告を掲載しました。

代表者：熊谷幸夫(第30期)

### ◇能球会

活動内容：年2～3回、東京近郊のコースでゴルフを楽しみます。フェイスブックのグループがあります。

代表者：石井鉄美(第50期)

### ◇能高釣クラブ

活動内容：自然を満喫しながら溪流釣を楽しみ、昼はバーベキュー、夕方は温泉で疲れを癒します。

代表者：小河範也(第41期)

### ◇東京探訪の会

活動内容：年2回(予定)、日常あまり触れることのない「東京」を訪ね、約2時間のコースを散策します。東京同窓会ブログに報告を掲載。昨年の会報には第20回記念拡大版の報告を掲載しました。

代表者：吉田真由美(第46期)

### ◇能高バスケの会

活動内容：能代カップやウィンターカップ、Bリーグ観戦、本校バスケットボール部やOB会との交流などによる情報交換をしています。東京同窓会ホームページに報告を掲載。

代表者：片谷浩之(第49期)

## アーカイブ事業への取り組み状況

第45期 袴田 邦夫

39年間勤めた会社を昨年4月に退職し雇用保険で食いつなぐ生活を半年間続けた後の昨秋、同期の三浦会長から「過去の同窓会資料のデジタル・アーカイブ化を手伝ってくれ」とのお声がかかった。同期の真崎さんと、おっとり刀で松戸の自宅を訪れたところ、そこに待ち構えていたのは段ボール箱4箱にも及ぶ資料、写真、ネガ、カセットテープ等の山であった(写真参照：これはあくまで一部です)。



詳細を聞くと、元東京同窓会事務局長の八柳さん(第29期)が撮影・保存していたものを中心に代々の会長に引き継がれてきた関係資料で、移送の際の宅急便代もバカにならないし、ここで一挙に整理しようとのこと。まずは仕分けということで、当会関係・近隣高校同窓会関係・近隣ふるさと会関係・残り、関係別に分類。更にネガフィルム・プリント帳・カセットテープ・紙資料他と形態別に分類して、第一次仕分け作業は完了。その日の夜は、能代高校無線部同級会コースに突入したのは言うまでもない。

さて、この仕分けした資料を誰が実際にデジタル・アーカイブ化するのか？だが、無線部時代からの阿吽の呼吸をもって私が指名された。人海戦術で資料の居場所を松戸→王子に移動させた後、今年に入ってから実際のアーカイブ作業に着手している。

### ●資料台帳化状況(東京同窓会関係分6月時点)

\*総会関係(1978年～2000年のうち13回の資料)

ネガ24本、プリント帳49冊、カセットテープ3本  
\*幹事会関係(1982年～2001年まで8回)

ネガ2本、プリント帳8冊、カセットテープ1本

\*校歌作詞作曲者(藤村作、岡野貞一)関係

紙資料百数十枚、カセットテープ1本

### ●デジタル化実施状況

\*カセットテープは片面単位でwave化を実施(現在4本完了)。最終的には、mp3形式への変換と、内容毎の細分化まで実施する計画である。

\*ネガフィルムは1コマ単位にてスキャンを行い、現状のHDクオリティを保持してjpeg化を実施し、同窓会関係の26本については完了済。

\*プリント帳については、ネガフィルムのないものは1枚単位でjpeg化、ネガフィルムが存在するものはプリント帳のページ単位でjpeg化と同時にpdf化に着手し、同窓会関係の57冊についてはデジタル化を完了した。

今後は、残る近隣高校同窓会や近隣ふるさと会のネガ・プリントのアーカイブに取り組む。

### ●公開について

今年3月までにデジタル化が完了した分については私個人のGoogleドライブへ暫定的に置いてあるが、ただ単に並べただけの状況。今後、索引や補足説明キャプションの作成・追加などを含め、時間をかけた検討の必要があると思っている。同窓の皆様から多数のご意見・助言を賜りたいと願っている。

湯島で同窓生に会える店

**あぐ・雲節料理**  
**上野 きくち**

通算43期(新制25期) **菊池 忠夫** 白神山地(藤里町)出身

千代田線湯島駅6番出口  
徒歩1分  
(大手町から北千住へ向かって最後方出口)  
東京都台東区上野1-12-2  
亀田ビル 1F 〒110-0005

ご予約をおすすめします

03-3839-3382



2019年度収支決算報告書 (2018年8月1日～2019年7月31日)

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
総会収入	724,000	466,000	総会費	1,043,000	754,821
会費収入	420,000	312,000	組織拡張費	25,100	3,621
雑収入	57,150	71,901	一般管理費	133,050	154,146
当期収入合計	1,201,150	849,901	当期支出合計	1,201,150	912,588
			当期収支	0	▲62,687
			前年度繰越金	1,206,851	1,206,851
			翌年度繰越金	1,206,851	1,144,164

■同年度の収入には同窓生4名と1団体からの寄付金が含まれています。ありがとうございました。  
 【23期】矢口裕 【24期】山縣輝輔 【28期】首都圏同期会 【43期】菊池忠夫 【45期】三浦洋  
 ★紙面の都合で簡易版を掲載しました。総会資料、東京同窓会ホームページでは詳細をご覧ください。

**会報はホームページでも公開中**  
 東京同窓会の会報は第1号からすべてホームページでもPDFで公開しています。お手もとにない号は、東京同窓会のトップページから「会報」の項を選んでご参照ください。第15号以前は誌面からのPDF化のため少し読みにくくなっていますが、何卒ご了承ください。  
<http://shoryokenji.web.fc2.com/>

**年会費納入のお願い**  
 会報の印刷代、送料、総会開催に係る費用などは、皆さまからの年会費でまかなわれています。納入にご協力のほどよろしくお願いいたします。  
 ▼年会費は2,000円です。  
 ▼郵便払込と銀行振込も利用できます。  
 それぞれの口座番号はこのページの右下にあります。



懇親会の最後は石井喬さん(第46期)の発声で万歳三唱。

**ゆうちょダイレクト、QRコードのお知らせ**  
 ◎東京同窓会の会費納入には振込用紙をご利用いただけますが、総会に出席される方は当日受付でお支払いください。また、「ゆうちょダイレクト」をご利用になりますと、同窓会が負担しております送金手数料が無料になりますので、ご利用可能な方はご協力をお願い申し上げます。  
 ◎東京同窓会への出欠のご連絡ははがきをご利用いただけますが、インターネットをお使いの方は東京同窓会ホームページにアクセスするか、スマートフォンでQRコードを読み込み、必要事項を送付していただくと、同窓会が郵便局へ納めるはがき返信料金がかかりませんので、ご協力をお願いします。



**ロボカップ 世界大会部門 7連覇を達成!**

小惑星探査機「はやぶさ2」の、ほぼ全ての科学観測機器の検討・開発に携わる!

**千葉工業大学**  
 CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

WEBでCHECK!  
 Tel.047-478-0222(入試広報課)  
 〒275-0016千葉県習志野市津田沼2-17-1

**ふるさと自慢が過ぎる店**

LPガス・酒・たばこ・じゅんさい鍋

TEL: 0185-83-3700  
 FAX: 0185-83-3701  
 山本郡三種町豊岡金田字豊岡198

(有)サンクラ  
**三蔵商店**  
 第51期 三浦基英  
<http://sankura.com>

**松陵健児**  
 能代高校東京同窓会 会報 第29号  
 発行日 2019年9月1日  
 発行 能代高校東京同窓会  
 発行責任者 三浦洋  
 編集 会報誌グループ  
 印刷 株式会社 毎栄

■能代高校東京同窓会事務局  
 〒270-2212  
 千葉県松戸市五香南 1-16-11 三浦洋方  
 E-mail: yohmiura@msn.com  
 Website: <http://shoryokenji.web.fc2.com>

■年会費振込先  
 ●郵便払込口座番号 00150-7-27459  
 加入者名 能代高校東京同窓会  
 ●ゆうちょ銀行 018(ゼロイチハチ)支店  
 普通預金 5914261  
 名義 能代高校東京同窓会